

視覚に障害のある音楽家によるコンサート



実施
学校名 豊島区立高松小学校

日時 令和7年1月9日（木）

場所 体育館

プログラム 概要

- ・視覚に障害のある音楽家3名と、ピアニストによるクラシック音楽を中心とした歌と演奏を鑑賞しました。
- ・代表児童が、演奏者等の出入りの誘導をととして、視覚障害者をサポートする際に気を付けることや、配慮することなどを学びました。
- ・児童は、障害を抱えながらも懸命に努力をして、明るく前向きに活動する音楽家からお話を伺ったことで、大きな勇気と元気をもらいました。

体験 風景

1 児童による音楽家の誘導



代表児童3名が、音楽家の出入りを手伝いました。児童は、声を掛けながら、歩調を合わせてゆっくり歩くなど、視覚障害者を誘導する際に必要となる配慮を学びました。

2 挨拶・自己紹介



自己紹介では、音楽を始めた年齢や視覚障害の程度などのお話がありました。また、講師から「生演奏の音楽を心で受け止めて欲しい」などのメッセージが送られました。

3 演奏鑑賞



児童に馴染みのある「にじ〜きつと明日はいい天気」などの歌唱や、フルートの演奏を鑑賞しました。演奏後、児童は、大きな声で「ブラーボ」や「ブラーバ」と講師から教わった声掛けをしていました。

4 講話



講師より、点字の楽譜で曲を習得していることを聞き、児童から驚きの声がありました。また、普段の生活で、コンビニなどの店を探すときは、匂いや音をたよりに見つけているとお話がありました。

参加した 児童の声・ 反応

- ・すごく心をつかまれる感じがして、音楽をもっと好きになりました。また、これから横断歩道を渡るときには、障害のある方がいないか確認しようと思います。
- ・どの演奏もとても素晴らしく、とても良い気分になり、素敵でした。
- ・信号機の音から東西南北の方角が分かることや、匂いや音でコンビニを見つけることなど、視覚障害者の生活について知ることができました。